

# 平成25年度 教育デザインセンター年報

## 1 本年度の運営体制

### 1) スタッフ

センター長（併）教授 高木展郎

#### 専任教員

高木展郎, 犬塚文雄, 大島 聡, 野中陽一, 米澤利明

兼務教員 池田敏和（学校教育課程課程長）

田中英登（大学院運営委員長）

津野 宏（附属高度理科教員養成センター）

客員教授 牛島 操（神奈川県立総合教育センター）

伊藤洋子（横浜市教育委員会事務局）

坂牧秀則（川崎市総合教育センター）

渡部賢一（相模原市立総合学習センター）

田島信幸（横須賀市教育研究所）

主任研究員 三浦修一, 白井達夫, 山本金五, 返町和久

事務補佐員 坂井美由紀 (edu-design@ml.ynu.ac.jp, 045-339-3481)

### 2) 部門構成

実践デザイン部門と研究デザイン部門の2部門で構成している。

### 3) 地域連携体制

神奈川県立総合教育センターを始め、横浜市教育委員会事務局、川崎市総合教育センター、相模原市立総合学習センター及び横須賀市教育研究所、との間で連携協定を結んでいる。

## 2 研究活動

1) 教育デザインセンターをハブとした都市型総合大学における教員養成システムの構築「平成23～27年度特別経費（プロジェクト分）—高度な専門職業人の養成や専門教育機能の充実—」の事業として、以下のことを実施した。

### (ア) 教員養成フォーラムの実施

昨年度と会場を変え、神奈川県立神奈川総合高等学校多目的ホールにおいて第3回目の「教員養成フォーラム」を実施した。（2014年1月25日）

今回は、シンポジウム形式で行ったが、そのテーマと登壇者は以下の通り。

〈テーマ〉「これからの神奈川の教員養成について考える」

〈シンポジスト〉

林 誠之介 神奈川県立総合教育センター所長

岡田 優子 横浜市教育委員会教育長

渡邊 直美 川崎市教育委員会教育長

岡本 実 相模原市教育委員会教育長

永妻 和子 横須賀市教育委員会教育長

高木まさき 横浜国立大学教育人間科学部長

〈コーディネーター〉

高木 展郎 横浜国立大学教育人間科学部附属教育デザインセンター長

今回は特に、教職大学院の設立に向け、広く意見をお聞きするというねらいも持たせた。

大学と教育委員会の代表者による意見交換の場が一般に公開されることは極めて稀なことであり、当日は130名を超える参加者があった。

(イ) 教員養成スタンダード（中学校版）の開発と学生・指導教員の学校への派遣

教育実習や現職教育の充実に資するため、一昨年度より「横浜スタンダード（中学校版）」の開発を進めている。本年度は、昨年度作成した、教科及び教科外（生徒指導、部活動指導、保健室指導など）の「スタンダード暫定版」についての検証を進めた。

また、学生（スチューデント・ティーチャー）と指導教員（スーパーバイザー）を公立小・中学校に派遣し、横浜スタンダードの検証を行うとともに、学生が教育実習以外でも直接学校教育に参画できるシステムの構築についての研究も引き続き行っている。

2) 「教員生活全体を通じた教員育成の在り方」検討会

平成24年8月28日に中央教育審議会より出された「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について（答申）」を受け、県内教育委員会、校長会・教頭会と連携して、教員のキャリアステージに合わせた資質能力の育成について検討する会を立ち上げた。

本年度はその第一歩として、職種別に内容の異なるアンケート調査（サンプル調査）を行い、キャリアステージによる研修等に関するニーズの違いの把握を試みた。アンケートの種類及び回収数は以下のとおりである。

管理職用（A4版3ページ） 148部

主幹教諭・総括教諭用（A4版4ページ） 302部

一般教諭用（A4版3ページ） 1323部

臨任教諭・非常勤講師用（A4版3ページ） 728部

指導主事用（A4版3ページ） 386部

これらを集計し、一部はクロス集計なども行った後、考察を行い、報告書にまとめた。

### 3) いじめ問題の早期解決を促す「いじめ予防ポスター」作成プロジェクト

現在、我が国の学校において、いじめは依然深刻な問題であり、最優先で対応すべき課題の一つである。このことは、神奈川県においても同様の状況であり、神奈川県内のすべての学校において、いじめ問題に適切に対応することが求められている。

このことを受けて、①すべての教職員等教育関係者が有すべきいじめの対応に対する共通認識をどう広めていくか、②いじめの対応に学校と家庭・地域・関係機関との連携の方策をどう共有していくか、③教育委員会として各学校に対し、いじめの対応にどうリーダーシップを発揮していくか等具体的内容について早急に実践的な研究を進めることが必要となっている。

昨年度（平成24年度）、本センターでは、神奈川県内の各教育委員会（神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市等の各教育委員会）の児童・生徒指導対応担当指導主事及び県校長会と共同で「平成24年度神奈川県児童指導検討会」を設置し、3つのパンフレット（A：県内の各学校に配付する冊子「いじめ初期対応マニュアル」、B：学校が家庭・地域・関係機関との連携を推進していくために家庭・地域の方々に配付するパンフレット「いじめをしない、させない、ゆるさない～子どもをいじめから守るために～」、C：県内の各市町村教育委員会向けに配付する冊子「市町村教育委員会におけるいじめ問題の対応～指導支援を必要とする加害児童生徒への対応について～」の3つ）の作成に協力した。

今年度（平成25年度）は、同じく神奈川県内の教育委員会、小・中校長会と連携して「平成25年度神奈川県生徒指導課題検討委員会」を設置し、さらに研究を進めた。昨年度作成した3つのパンフレットの内容を踏まえ、わかりやすくポスターでアピールするために、①いじめ予防センターポスター、②いじめチェックブランチポスター、③いじめ防止法紹介ブランチポスターの3つを作成した。この3つのポスターを印刷して神奈川県内のすべての学校（幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校：約2,350校）に1セット（3枚）ずつ配付する計画である。このことにより、神奈川県下のすべての学校におけるいじめ問題に対する対応について、より一層の改善を促すことが期待できると考える。

### 3 地域連携事業

#### 1) アドバイザリー・スタッフ派遣事業

- ・スタッフ登録者名簿（別紙資料1）
- ・派遣実績（別紙資料2）

#### 2) 連携研修講座

##### ①「いじめ不登校への対応」研修講座

日 時：平成 25 年 8 月 12 日（月）13:30～16:30

講 師：横浜国立大学教育人間科学部 犬塚 文雄 教授

受講者：36 名

講義やグループ活動を通して、いじめ・不登校問題の動向に触れ、臨床生徒指導の視点について学んだ。また、子どもたちの「いのちを守る」・「いのちを輝かす」消極的生徒指導についても実践例を通して考える機会となった。

##### ②「発達障害のある子どもの行動問題への支援」研修講座

日 時：8 月 5 日（月）13:30～16:30

場 所：教育デザインセンター 206 教室

講 師：横浜国立大学教育人間科学部 渡部匡隆 教授

内 容：講義・演習「行動問題の理解と指導上のポイント」

受講者：33 名

発達障害のある児童・生徒の行動を理解し、適切な支援をするための手立てを確認した。子どもの行動問題を理解する手立てとして、行動の直前・直後の状況と、子どもの行動との因果関係を分析する方法（ABC分析法）について演習を行い、指導上のポイントを捉えた。

##### ③企業から学ぶ「東京ディズニーリゾートをささえる『ホスピタリティ』」研修講座

日 時：平成 25 年 8 月 16 日（金）13:30～16:30

講 師：株式会社オリエンタルランド社員

受講者：196 名

人間関係を大切にする東京ディズニーリゾートをささえる「ホスピタリティ」の考え方に基づく人間関係づくりの方法について理解を深めた。当センター及び、テレビ会議システムを用いて川崎市総合教育センター・相模原市総合学習センター・横須賀市教育研究所で学びの場である学校現場に生かすことができることは何か等について協議した。

#### ④「授業デザイン」研修講座

日 時：平成 25 年 8 月 23 日（金）13:30～16:30

講 師：横浜国立大学 有元典文 教授

受講者：57 名

最新の学習理論にもとづいた授業デザイン・活動デザインの考え方を学ぶとともに、ワークショップやディスカッションを通して、「みんながいることでそれぞれが学習できる場づくり」の視点で授業づくり・活動づくりを考えた。

#### 3) 講義、公開講座

教養教育科目「学校教育最前線」（対象学部：共通、対象学年：1～4）

<講義テーマ一覧>

- ①4月 8日 高木 展郎「今、求められる学力とは」  
(教授・附属デザインセンター専任)
- ②4月 15日 白井 達夫「評価について考える」  
(非常勤講師・附属教育デザインセンター主任研究員)
- ③4月 22日 山本 金五「授業づくりと学級経営」  
(非常勤講師・附属教育デザインセンター主任研究員)
- ④4月 30日 田島 信幸「理科の視点から見えてくるもの」  
(客員教授・横須賀市教育委員会)
- ⑤5月 13日 坂牧 秀則「輝け 若手教員」  
(客員教授・川崎市教育委員会)
- ⑥5月 20日 返町和久「一人ひとりを支援する～最近の高校事情～」  
(非常勤講師・附属教育デザインセンター主任研究員)
- ⑦5月 27日 牛島 操「生徒を授業に夢中にさせる『しかけ』」  
(客員教授・神奈川県教育委員会)
- ⑧6月 3日 坂牧 秀則「『教育の情報化』をすすめる中で～1」  
(客員教授・川崎市教育委員会)
- ⑨6月 10日 伊藤 洋子「幼児期の教育と小学校教育をつなぐ」  
(客員教授・横浜市教育委員会)
- ⑩6月 17日 渡部 賢一「児童生徒を育てる授業づくり1」  
(客員教授・相模原市教育委員会)
- ⑪6月 24日 田島 信幸「『教育の情報化』をすすめる中で～2」  
(客員教授・横須賀市教育委員会)
- ⑫7月 1日 渡部 賢一「児童生徒を育てる授業づくり2」  
(客員教授・相模原市教育委員会)

- ⑬7月8日 伊藤 洋子「授業に生きる学校図書館」  
(客員教授・横浜市教育委員会)
- ⑭7月17日 牛島 操「『いじめ』のない学校づくり」  
(客員教授・神奈川県教育委員会)
- ⑮7月22日 米澤 利明「教員評価」  
(准教授・附属デザインセンター専任)

#### 4) 教員免許更新講習

2013年8月8,9日に神奈川県立総合教育センター、横浜市教育センター、川崎市総合教育センター、横須賀市教育研究所、相模原市総合学習センターと大学をテレビ会議システムで結び、必修科目「教育の最新事情」を開講した。また、講習用テキストを開発した。

最終的な受講者数は、以下の通り。

定員	526名
申込	415名
出席	409名
欠席	6名

会場：横浜国立大学 125/135 (出席/定員)

会場：神奈川県立総合教育センター 55/62

会場：横浜市教育委員会教職員育成課 花咲研修場 94/100

会場：川崎市総合教育センター 80/100

会場：相模原市立総合学習センター 14/45

会場：横須賀市教育研究所 41/80

#### 5) 神奈川県内全県指導主事講習会

2013年4月10日に、「これからの時代における授業と評価」確かな学力を育てるために-学習評価を踏まえた授業づくりのみちすじ- (高木展郎教授) の講義を県内5会場 (神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市) の指導主事を対象にテレビ会議システムで配信した。別途、小田原でも18時より開催した。

#### 6) 神奈川県内長期研修員講習会

2013年4月17日に、「今求められている授業づくりと研究の進め方」(高木展郎教授) の講義を県内5会場 (神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市) の長期研修員を対象にテレビ会議システムで配信した。

## 7) 非常勤講師対象研修会

神奈川県内の、現職で勤務している非常勤講師、臨時的任用職員・非常勤講師として登録した者、希望する臨時的任用職員を対象とした研修会を5月と10月に実施した。

### <前期>

第1回目 5月15日(水)

講師：附属教育デザインセンター長 高木展郎教授

「新指導要領実施期における新しい授業づくり～授業をどうするのか～」

第2回目 5月22日(水)

講師：附属教育デザインセンター 犬塚文雄教授

「子ども理解を踏まえた授業づくりー子どもの心に響く授業を！ー」

第3回目 5月29日(水)

講師：附属教育デザインセンター長 高木展郎教授

「授業の組み立て方と評価～今・そしてこれからの授業観～」

### <後期>

第1回目 10月8日(火)

講師：附属教育デザインセンター長 高木展郎教授

「新指導要領実施期における新しい授業づくり～授業をどうするのか～」

第2回目 10月15日(火)

講師：附属教育デザインセンター 犬塚文雄教授

「子ども理解を踏まえた授業づくりー子どもの心に響く授業を！ー」

第3回目 10月22日(火)

講師：附属教育デザインセンター長 高木展郎教授

「授業の組み立て方と評価～今・そしてこれからの授業観～」

## 8) 国語教育デザインフォーラム

2013年8月5日(月)に、川崎市教育会館において「国語教育デザインフォーラム in KAWASAKI」を開催した。講演やシンポジウムを聞くだけの研修から、全員で話し合い、学び合う研修会への転換を図るべく、外部講師を招かず、教育デザインセンタースタッフと参加者だけでつくる会とした。

第1回目の開催であるにもかかわらず100名以上の参加者があり、これからの国語授業のあり方について熱心な意見交換が行われた。今後も開催場所を変えながら続けていく予定である。

#### 9) 教育実践フォーラム2014

2014年1月25日に教育実践フォーラム2014を開催した。「授業実践から何を学ぶか。明日からの授業をどう変えていくか」をテーマとして、高木展郎センター長から話題提起として、「授業をなぜ変えなくてはならないのか」について資料に基づく講義があり、さらに授業を記録したビデオを視聴した後、参加者全員でのディスカッションと、参加者同士、教育デザインセンタースタッフとの交流を行った。授業改善の必要性が強く叫ばれる中、単にハウツーを求めるのではなく、時代が求める学力とそれに基づく学校の在り方、授業研究の進め方、さらには教員に求められる資質能力など、明日の学校に、教師に求められることを、幅広く、そして深く考え交流する場となった。小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教諭だけでなく、大学で教職免許を取得するために学んでいる学生、民間教育団体のメンバー、各地の教育委員会のスタッフなど、多様な立場のおよそ100名の方々が参加された。

#### 10) 附属学校教員の10年経験者研修

平成25年度は、1名受講。

#### 11) 「教師として成長し続けるために」の配布

デザインセンターWebからダウンロードを可能とした(パスワード別途配布)。  
配布先については、別紙資料3

### 4 その他

#### 1) 連携融合推進会議

平成25年度第1回 連携融合推進会議

日時：平成25年6月12日(水) 15:00~16:30

場所：横浜国立大学教育人間科学部附属教育デザインセンター 206教室

##### 1. 学部長挨拶

##### 2. 出席者紹介

神奈川県立総合教育センター所長 林誠之介  
横浜市教育委員会事務局 指導部長 入内嶋周一  
川崎市総合教育センター所長代理 小松良輔  
相模原市立総合学習センター所長 金井秀夫  
横須賀市教育研究所所長 市川敦義  
横浜国立大学教育人間科学部長 高木まさき  
横浜国立大学教育人間科学部事務長 渡邊敏郎

### 3. 所員紹介

#### 報告事項

1. 平成 25 年度県内指導主事講習会について
2. 平成 25 年度県内長期研修生研修について
3. 神奈川県内非常勤講師対象研修会について
4. 平成 25 年度教育デザインセンター実施の免許更新講習について
5. 「教育デザインセンターをハブとした都市型総合大学における教員養成システムの構築」についての経過報告
6. 「確かな学力を育てるために」（解説編）の活用について
7. 神奈川県生徒指導課題検討委員会（仮称）について

#### 協議事項

1. 連携協力による研究事業の推進の可能性について  
「教職生活全体を通じた教員養成の在り方」検討会について

#### その他

1. 平成 25 年度「教員養成フォーラム」の開催について  
平成 26 年 1 月 25 日(土)
2. 平成 25 年度「教育実践フォーラム 2014」の開催について  
平成 26 年 1 月 25 日(土)

#### 平成 25 年度第 2 回 連携融合推進会議

日時：平成 26 年 3 月 5 日（水） 15:00～16:30

場所：横浜国立大学教育人間科学部附属教育デザインセンター 206 教室

#### 1. 学部長挨拶

#### 2. 出席者紹介

神奈川県立総合教育センター所長代理 杉坂邦子

横浜市教育委員会事務局指導部長代理 平本正則

川崎市総合教育センター所長代理 小松良輔

相模原市立総合学習センター所長 金井秀夫

横須賀市教育研究所所長 市川敦義

横浜国立大学教育人間科学部長 高木まさき

横浜国立大学教育人間科学部事務長 渡邊敏郎

#### 3. 所員紹介

#### 報告事項

1. 平成 25 年度教育デザインセンター実施の免許更新講習について
2. 「教育デザインセンターをハブとした都市型総合大学における教員養成システムの構築」についての経過報告
3. 平成 25 年度「教育実践フォーラム」の開催について
4. 平成 25 年度「教員養成フォーラム」の開催について
5. 連携協力による研究事業の推進
  - (1) 教育デザインセンターをハブとした県内不登校対策の研究について
  - (2) 「教員生活全体を通じた教員養成の在り方」について

#### 協議事項

1. 平成 26 年度県内指導主事講習会について
2. 平成 26 年度県内長期研修生研修について
3. 平成 26 年度県内非常勤講師講習会について

#### その他

1. 平成 26 年度「教育実践フォーラム」の開催について
2. 平成 26 年度「教員養成フォーラム」の開催について

資料1 アドバイザリースタッフ名簿

所 属	氏 名	専 門 分 野
センター専任	高木 展郎	学習評価、教育課程、リカレント教育等
	大島 聡	情報教育、教育工学、遠隔授業等
	犬塚 文雄	生徒指導の各種(個別支援・集団支援・チームサポート)などのプログラム開発 特別活動領域での社会性育成プログラムの開発
	野中 陽一	ICT活用による授業改善、教育方法の工夫・改善、学校システムの改善等
	米澤 利明	教育課程、学校経営
センター研究員	三浦 修一	学校教育全般、学校経営、国語科教育
	白井 達夫	学校教育全般、学校経営、国語科教育
	山本 金五	学校教育全般、学校経営、社会科教育
	返町 和久	学校教育全般、学校経営、社会科教育
学校教育講座	新井 秀明	教育行財政学、教育法
	有元 典文	学習心理学・認知心理学 (学習環境のデザイン、学習に関する相談一般、コンピュータ利用教育)
国語・日本語講座	高木 まさき	国語科教育
	河野 俊之	日本語教育、日本語教師養成、音声教育
	青山 浩之	国語(書写)教育、書道教育、言語文化系教育
	三宅 晶子	古典文学、能・狂言、古典芸能、古典教育、伝統的言語文化教育
社会科教育講座	西脇 保幸	地域学習や地理教育に関すること
	重松 克也	社会科授業づくり、社会科授業分析
	多和田 雅保	日本近世史、地域史研究法、歴史資料調査法
	棚橋 信明	西洋近現代史、歴史教育
数学教育講座	馬場 裕	大学入試問題の解説 中学・高校の数学カリキュラムの解説、中学・高校において数学が役立っていること
	石田 淳一	小学校算数科教育の指導内容・指導方法・評価方法など
理科教育講座	森本 信也	理科の教授論、学習論、評価論
	加藤 圭司	小・中学校の理科授業構築やカリキュラム構成と評価 環境教育を中心とした総合的な学習の授業づくり
	鈴木 俊彰	化学・化学実験に関すること全般
	西 栄二郎	生物教育、環境教育、自然史博物館や動物園を利用した総合学習など
	平島 由美子	小・中学校理科(物理分野)での実験とものづくり
	津野 宏	化学教育など
生活科教育講座	西村 隆男	消費者教育に関する教員啓発、実践支援 金融など家庭経済に関する成人向け講話など
	金馬 国晴	生活科、総合的な学習、カリキュラムの全体構成 ワークショップ型・参画型授業
音楽教育講座	小川 昌文	音楽科教育、音楽授業実践 アメリカ合衆国の音楽教育(授業、教員養成、カリキュラム論)
	中嶋 俊夫	音楽科教育法、歌唱指導法、イタリア歌曲指導法
美術教育講座	大泉 義一	造形教育研究、授業研究、デザイン教育研究
	小池 研二	中学校美術科の授業実践、鑑賞教育

保健体育講座	高橋 和子	体育科教育、舞踊教育、からだ気づきに関するプログラム提供
	海老原 修	体育科学／健康科学
	田中 英登	熱中症の予防、生活環境と発育発達
	伊藤 信之	陸上競技、トレーニング論、コーチング論、バイオメカニクス
	物部 博文	保健学習、健康教育
	梅澤 秋久	小学校における「かかわり合い」の授業づくり、体育科教育、健康教育
技術教育講座	但馬 文昭	中学技術における計測・制御
	横尾 恒隆	技術教育史、技術教育の国際比較、技術科教育実践論
	小林 大介	木材加工学、木材科学、木のものづくり指導
	坂本 智	機械加工、金属加工
	鬼藤 明仁	技術科教育、情報教育
家政教育講座	堀内 かおる	家庭科教育、参加型学習(ワークショップ)の方法論、ジェンダーと教育
	杉山 久仁子	食生活に関する問題についての講義、実験、実習
	薩本 弥生	衣服の役割、衣服の快適性等衣生活に関すること
英語教育講座	佐野 富士子	第二言語習得論、教室における第二言語習得 リーディングとライティングの統合的指導、アウトプットとしてのライティング研究
特別支援教育講座	高山 佳子	障害のある子どもに対する教育心理学的支援 保護者や教師に対する教育相談
	中川 辰雄	聴覚障害教育、聴覚管理、オージオロジー
	渡部 匡隆	発達障害児への個別指導・支援計画の立案・実施・評価 支援目標の課題分析・ABC分析・支援の手だてについて
臨床心理学講座	鈴木 朋子	臨床心理学、心理検査を用いた心の理解、保護者への対応を考える
人間文化課程	安藤 孝敏	児童・生徒と高齢者の世代間交流 高齢化教育(エイジング教育)

## 別紙資料2 平成25年度 アドバイザリースタッフ派遣件数

連番	氏名	月日	依頼者	派遣先	備考
1	石田 淳一	4月3日	二宮町立二宮小学校	二宮町立二宮小学校	講演、ワークショップ、指導助言、研究相談
2	石田 淳一	4月12日	二宮町立二宮小学校	二宮町立二宮小学校	講演、ワークショップ、指導助言、研究相談
3	白井 達夫	4月24日	川崎市立東菅小学校	川崎市立東菅小学校	講演、指導助言、研究相談
4	物部 博文	4月26日	神奈川県立秦野高等学校	神奈川県立秦野高等学校	研究相談
5	三浦 修一	5月2日	三浦市立三崎中学校	三浦市立三崎中学校	指導助言、研究相談
6	石田 淳一	5月8日	二宮町立二宮小学校	二宮町立二宮小学校	講演、ワークショップ、指導助言、研究相談
7	三浦 修一	5月9日	三浦市立岬陽小学校	三浦市立岬陽小学校	講演、ワークショップ、指導助言、研究相談
8	有元 典文	5月31日	県立高等学校平塚秦野地区用語教諭部会	神奈川県立秦野総合高等学校	研究相談、その他
9	高木 展郎	6月6日	神奈川県立総合教育センター	神奈川県立総合教育センター	新任校長研修(県立学校)
10	高木 展郎	6月6日	神奈川県立総合教育センター	神奈川県立総合教育センター	アドバイザー会議
11	三浦 修一	6月6日	三浦市立岬陽小学校	三浦市立岬陽小学校	講演、ワークショップ、指導助言、研究相談
12	三浦 修一	6月13日	三浦市立三崎中学校	三浦市立三崎中学校	指導助言、研究相談
13	物部 博文	6月22日	神奈川県立大原高等学校	神奈川県立大原高等学校	ワークショップ、その他
14	石田 淳一	6月24日	二宮町立二宮小学校	二宮町立二宮小学校	講演、ワークショップ、指導助言、研究相談
15	物部 博文	6月25日	神奈川県立座間高等学校	神奈川県立座間高等学校	講演
16	白井 達夫	7月4日	湯河原町教育委員会	湯河原町教育委員会	講演
17	物部 博文	7月5日	県立神奈川工業高等学校	県立神奈川工業高等学校	講演
18	物部 博文	7月8日	神奈川県立霧が丘高等学校	神奈川県立霧が丘高等学校	講演
19	高木 展郎	7月9日	神奈川県立総合教育センター	神奈川県立総合教育センター	新任校長研修(小・中)
20	物部 博文	7月9日	足柄上保健福祉事務所	山北町立山北中学校	講演
21	野中 陽一	7月10日	川崎市立梶ヶ谷小学校	川崎市立梶ヶ谷小学校	指導助言
22	高木 展郎	7月11日	神奈川県立総合教育センター	神奈川県立総合教育センター	新任校長研修(小・中)
23	高木 展郎	7月16日	神奈川県立総合教育センター	神奈川県立総合教育センター	新任校長研修(小・中)
24	青山 浩之	7月30日	横浜市教育委員会指導部指導企画課	横浜市技能文化会館多目的ホール	講演、指導助言
25	堀内 かおる	8月5日	神奈川県立総合教育センター	神奈川県立総合教育センター	男女共同参画研修
26	物部 博文	8月6日	横浜市教育委員会事務局 指導企画課	横浜市立戸塚高等学校	講演
27	平島由美子	8月9日	横須賀市教育委員会	横須賀市教育研究所	ワークショップ(小学校)
28	平島由美子	8月9日	横須賀市教育委員会	横須賀市教育研究所	ワークショップ(中学校)
29	高木 まさき	8月21日	神奈川県立総合教育センター	教育デザインセンター302	教科指導研修
30	石田 淳一	8月21日	二宮町立二宮小学校	二宮町立二宮小学校	講演、ワークショップ、指導助言、研究相談
31	三浦 修一	8月22日	川崎市立東橋中学校	川崎市立東橋中学校	講演、ワークショップ
32	物部 博文	8月26日	県立秦野高等学校	県立伊志田高等学校	指導助言、研究相談、その他
33	白井 達夫	8月28日	藤沢市立村岡中学校	藤沢市立村岡中学校	講演
34	白井 達夫	8月28日	相模原市立総合学習センター	相模原市立九沢小学校	講演、演習
35	三浦 修一	8月30日	三浦市立三崎中学校	三浦市立三崎中学校	講演、指導助言、研究相談
36	白井 達夫	8月30日	川崎市立梶ヶ谷小学校	川崎市立梶ヶ谷小学校	講演、指導助言
37	白井 達夫	9月5日	川崎市立中野島小学校	川崎市立中野島小学校	講演、ワークショップ、研究相談
38	堀内かおる	9月10日	川崎市立鷺沼小学校	川崎市立鷺沼小学校	指導助言
39	三浦 修一	9月12日	茅ヶ崎市立東海岸小学校	茅ヶ崎市立東海岸小学校	講演
40	金馬 国晴	9月13日	横浜市立中川小学校	横浜市立中川小学校	指導助言、研究相談
41	三浦 修一	9月18日	三浦市立岬陽小学校	三浦市立岬陽小学校	講演、ワークショップ、指導助言、研究相談
42	三浦 修一	9月19日	相模原市立青根中学校	相模原市立青根中学校	講演
43	物部 博文	9月24日	神奈川県高等学校教科研究会	神奈川県立秦野総合高等学校	指導助言、研究相談
44	三浦 修一	10月4日	三浦市立三崎中学校	三浦市立三崎中学校	指導助言、研究相談
45	有元 典文	10月18日	横浜市立新井中学校	横浜市立新井中学校	ワークショップ、指導助言
46	三浦 修一	10月21日	寒川町立小谷小学校	寒川町立小谷小学校	講演、ワークショップ、指導助言、研究相談
47	杉山久仁子	10月22日	海老名市小学校教育研究会家庭科部	海老名市立柏ヶ谷小学校	講演、ワークショップ
48	物部 博文	10月23日	神奈川県高等学校教科研究会	神奈川県立伊志田高等学校	講演、指導助言、研究相談
49	堀内かおる	10月25日	川崎市立鷺沼小学校	川崎市立鷺沼小学校	指導助言
50	米澤 利明	10月29日	相模女子大学中学部・高等部	相模女子大学中学部・高等部	講演
51	三浦 修一	11月1日	三浦市立三崎中学校	三浦市立三崎中学校	指導助言、研究相談
52	白井 達夫	11月12日	川崎市立新城小学校	川崎市立新城小学校	指導助言、研究相談
53	物部 博文	11月15日	三浦市立南下浦中学校	三浦市立南下浦中学校	講演
54	有元 典文	11月18日	神奈川県立大和高等学校	神奈川県立大和高等学校	講演、指導助言
55	中川 辰雄	11月18日	川崎市立聾学校	川崎市立聾学校	指導助言
56	三浦 修一	11月20日	三浦市立岬陽小学校	三浦市立岬陽小学校	講演、ワークショップ、指導助言、研究相談
57	物部 博文	11月20日	南足柄市立南足柄中学校	南足柄市立南足柄中学校	指導助言
58	三浦 修一	11月21日	寒川町立小谷小学校	寒川町立小谷小学校	ワークショップ、指導助言、研究相談
59	金馬 国晴	11月22日	横浜市立中川小学校	横浜市立中川小学校	指導助言、研究相談
60	津野 宏	11月22日	横浜市立中川小学校	横浜市立中川小学校	指導助言、研究相談
61	物部 博文	11月25日	神奈川県高等学校教科研究会	神奈川県立秦野総合高等学校	指導助言、研究相談
62	中川 辰雄	11月25日	川崎市立聾学校	川崎市立聾学校	指導助言
63	高木 展郎	11月27日	神奈川県立総合教育センター	神奈川県立総合教育センター	新任教頭研修(県立学校)
64	高木 展郎	12月3日	神奈川県立総合教育センター	神奈川県立総合教育センター	新任教頭研修(県立学校)
65	白井 達夫	12月6日	川崎市立中原小学校	川崎市立中原小学校	指導助言
66	物部 博文	12月9日	神奈川県足柄上保健福祉事務所	山北町立三保中学校	講演
67	物部 博文	12月10日	県立神奈川工業高等学校	県立神奈川工業高等学校	講演
68	物部 博文	12月16日	小田原総合ビジネス高等学校	小田原総合ビジネス高等学校	講演
69	白井 達夫	12月17日	川崎市立新城小学校	川崎市立新城小学校	指導助言、研究相談

連番	氏名	月日	依頼者	派遣先	備考
70	物部 博文	12月25日	神奈川県高等学校教科研究会養護部	神奈川県平塚合同庁舎	指導助言、研究相談
71	犬塚 文雄	1月9日	神奈川県立総合教育センター	神奈川県立総合教育センター	講演
72	三浦 修一	1月9日	神奈川県立釜利谷高等学校	神奈川県立釜利谷高等学校	講演
73	犬塚 文雄	1月16日	神奈川県立総合教育センター	神奈川県立総合教育センター	講演
74	三浦 修一	1月20日	三浦市立三崎中学校	三浦市立三崎中学校	指導助言、研究相談
75	三浦 修一	1月24日	三浦市立小中学校教頭会	三浦市南下浦市民センター	講演、指導助言
76	有元 典文	2月10日	神奈川県立大和高等学校	神奈川県立大和高等学校	講演、指導助言
77	金馬 国晴	2月14日	横浜市立中川小学校	横浜市立中川小学校	指導助言、研究相談
78	小川 昌文	2月14日	横浜市立中川小学校	横浜市立中川小学校	指導助言、研究相談
79	工藤由貴子	2月14日	横浜市立中川小学校	横浜市立中川小学校	指導助言、研究相談
80	物部 博文	2月20日	茅ヶ崎市立梅田中学校	茅ヶ崎市立梅田中学校	講演
81	物部 博文	2月24日	神奈川県足柄上保健福祉事務所	中井町立中井中学校	講演
82	物部 博文	2月26日	神奈川県足柄上保健福祉事務所	南足柄市立南足柄中学校	講演
83	三浦 修一	3月7日	三浦市立岬陽小学校	三浦市立岬陽小学校	講演、ワークショップ、指導助言、研究相談
84	高木 展郎	3月17日	神奈川県立総合教育センター	神奈川県立総合教育センター	アドバイザリー会議

## 別紙資料3 「教師として成長し続けるために」 の配付先

		パスワード依 頼	冊子 配布			使用目的
			若手編	中堅編	ベテラン編	
神奈川県教育委員会教育局				20	20	研究会用
神奈川県立藤沢清流高等学校	教員	○				個人として研修や学校経営改善の取組みのなかで活用
神奈川県立総合教育センター		○				研修で使用
横浜国立大学教育人間科学部 附属鎌倉中学校	教員	○				
横浜市 教育委員会 南部学校教育事務所	指導主事	○				
横浜市立上郷小学校	教員	○				学校で活用
横浜市立白根小学校		○				
横浜市立末吉小学校	校長	○				
横浜市立港中学校		○				
横浜市立緑園東小学校	教員	○				
横浜隼人高等学校	教員	○				
横浜市 教育委員会 西部学校教育事務所	指導主事	○				
川崎市総合教育センター				70	50	研修用
川崎市総合教育センター 情報・視聴覚センター	指導主事	○				
川崎市立金程小学校	教務主任	○				若手編、中堅編を校内研修で活用
川崎市立宿河原小学校	校長	○				若手4部、中堅11部、ベテラン10部を 複写して職員に配布
川崎市立千代ヶ丘小学校		○				
横須賀市教育委員会					12	20年次研修
湘南三浦教育事務所 指導課		○				
平塚市立花水小学校		○				
藤沢市立中里小学校	校長	○				校内研修
茅ヶ崎市立田蔵小学校	教員	○				
茅ヶ崎市立緑が浜小学校	校長	○				校内で活用
伊勢原市立石田小学校		○				
相模原市立新磯小学校	教員	○				
秦野市 教育委員会 教育指導課		○				
秦野市 教育委員会 教育部 教育研究所	指導主事	○				
大和市立渋谷小学校		○				
足柄下教育事務所	指導課長	○				
南足柄市教育委員会		○				
荒川区立第七中学校	研究主任	○				
特定非営利活動法人Teach For Japan 事務局		○				
日本大学高等学校・中学校		○				
三島市教育委員会学校教育課			1	10	10	
三島市立三島南小学校			4	6	18	研修
三島市教育委員会学校教育課	指導主事	○				教員の研修や学校訪問を担当。業務に 活用
大阪府立桃谷高等学校	教員	○				
広島三育学院高等学校		○				
高知県教育センター 教職研修部				70		10年次研修

配付数（パスワード依頼件数）計

33件

5冊

176冊

110冊